

令和3年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会

平成20年3月28日設置

平成28年3月30日 豊橋市都市交通計画策定
令和3年3月30日 豊橋市都市交通計画中間見直し
(計画期間 平成28年～令和7年度)

令和2年6月19日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>地域運営団体と連携し、地域に合った公共交通の維持・利用促進が図られることを期待します。</p>	<p>新型コロナのワクチン接種に向かう利用者への支援、運行の改善点を模索するためのアンケート実施、沿線の大学の学生が制作したバス停型オリジナルキーホルダーの配布など、地域運営団体と連携した取組みを実施した。</p>	<p>利用者に寄り添ったルートの見直しやミーティングポイントの見直しを検討するとともに、利用者の獲得・定着を図るため利用促進を行っていく。</p>
<p>バスロケの導入（予定）など、公共交通の利便性確保及び利用促進が図られることを期待します。</p>	<p>バスロケの導入により時刻表などのGTFS化を実施するとともに、バスの現在位置がリアルタイムで反映されるようになった。豊橋鉄道市内線の2か所の電停において駐輪場を整備し、交通結節機能の強化を図った。</p>	<p>引き続きバスロケの周知を図るほか、更なる交通結節機能の強化を図る。</p>
<p>引き続き東三河地域が一体となった公共交通の利用促進を期待します。</p>	<p>夏休み期間中の東三河地域のバス運賃を50円にするとともに、東三河地域を電車やバスで周遊するイベントを実施した。</p>	<p>引き続き令和4年も東三河地域が一体となった利用促進イベントを実施する。</p>

(1) 豊橋市の公共交通

- ・豊橋駅を中心に民間の豊鉄バスの路線網を放射線状に整備。
- ・豊川市、新城市、田原市と本市を結ぶ地域間幹線系統がある。
- ・豊橋駅には、東海旅客鉄道、名古屋鉄道、豊橋鉄道の路線が乗り入れ。
- ・交通事業者による従来の乗合型公共交通の運行が難しい地域では、地域住民がコミュニティバスを運営。支線公共交通やアクセス交通の役割を果たしている。

(2) 豊橋市地域公共交通網形成計画（豊橋市都市交通計画2016-2025）

1) 計画の期間：平成28年～令和7年度（10年間）

2) 基本理念：多様な交通手段を誰もが使い、
過度に自家用車に頼ることなく、
生活・交流ができる都市交通体系の構築

3) 基本方針

基本方針 1：安全・安心で快適に移動できる交通づくり

基本方針 2：まちの魅力・活力を高める交通づくり

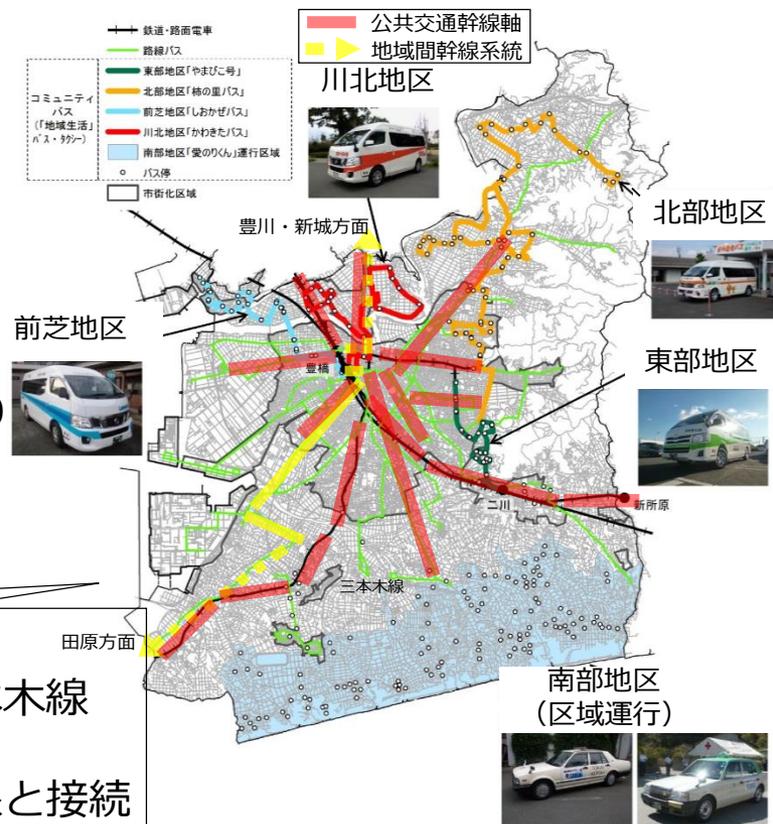
基本方針 3：環境・健康を意識した交通づくり

● 地域内フィーダー系統確保維持費補助路線

東部地区を除くコミュニティバス4地区、路線バス三本木線

● 接続状況

豊橋駅で地域間幹線系統の新豊線、豊川線、伊良湖本線と接続



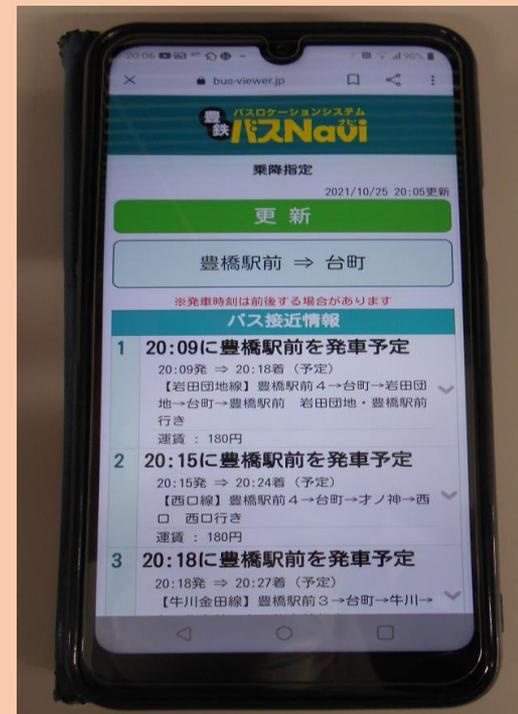
戦略1：公共交通幹線軸の強化

★：ハード事業 ☆：ソフト事業 赤字：補助金対象事業

☆バスロケーションシステムの導入 <新規>
 バスの位置情報のGTFS化も実施
 →適正な運行時分の把握をダイヤ改正に反映した。

☆乗合事業運転士確保支援事業 <拡充>
 定住外国人及び就職氷河期世代と乗合事業者とのマッチング
 →定住外国人及び就職氷河期世代の安定した雇用の促進により
 公共交通を維持することができた。
 (説明会参加者：26名 採用者：5名) (R1~R3の累計)

★危険バス停の改善 (6カ所)
 ★路面電車軌道敷単路部の改修 (東田~競輪場前間)
 →国からの協力要請に基づき修繕を実施し、安全性が向上した。



▲バスロケーションシステムアプリ画面
 路線バス運行情報の提供。

戦略2：地域拠点における交通結節機能の強化

☆「地域生活」バス・タクシー (コミュニティバス) 運行事業及び利用促進
 →新型コロナによる利用者減少に対応するため、各地区の住民が地域運営委員会を開催し対応策を検討、実施した結果、全地区で収支率10%以上を維持することができた。

戦略3：まちなか交通の魅力向上

☆サイクルトレインのPR強化

★豊橋駅自転車組み立てスペースの整備

→サイクルトレインのPR強化の効果もあり、毎月20名～40名の方が利用した。

▶自転車組み立てスペース



戦略4：自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換

☆右図の4カ条を名入れしたウェットティッシュの配布

☆地域住民や市職員が出演する啓発動画の放映

→新しい生活様式に対応した公共交通利用啓発を行い、公共交通は安全・安心に乗車できることを周知できた。

☆御乗印&御城印引換券付き渥美線・市内線共通1日乗車券

→500部完売。新たな顧客を創造できた。

☆鉄道・鉄軌道及びバスを活用したウォーキングイベントの実施（参加者：507名）

☆東三河バス整理券ラリー&歴史謎解きゲームの開催

（応募者数：161名 アクセス数：1,447件）

→外出を控えている高齢者にきっかけを創出したほか、「コロナ禍でも思い出ができた」、「毎月開催してほしい」など好意的な意見が多く聞かれた。

新型コロナ対策!! みんなで守って

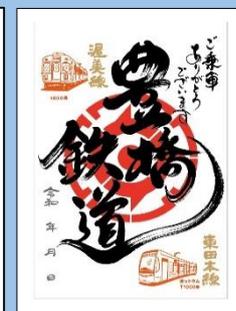
安心乗車

電車、バスなどに乗る時守りたい

4カ条

豊橋市役所 都市交通課

- 1 利用時間の工夫
混雑時間と重ならないように工夫しましょう。
- 2 目、鼻、口は触らない
手すり等に触った手で顔を触らないようにしましょう。
- 3 マスクで咳エチケット
会話は控え、マスクで飛沫感染を防ぎましょう。
- 4 手洗い
まめに手を洗い、健康管理を徹底しましょう。



(1) 豊橋市地域公共交通網形成計画 (H28年～R7年 (2016年～2025年))

目標	評価指標	目標	実績値 (R2年度)	達成状況
目標1： 人にやさしく移動しやすい交通環境を実現する	自転車・公共交通の利用のしやすさにおいて満足と感じる人の割合	自転車40% 公共交通45%	[自転車]32.2% [公共交通]42.5%	未達成
	歩行者・自転車に関わる交通事故件数	592件/年からの減少	459件/年	達成
目標2-1： まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークを形成する	公共交通の1日当たり利用者数	[主要鉄道駅] 58.5千人/日平均 [路面電車・路線バス] 23.6千人/日平均 上記数字を維持	[主要鉄道駅] 37.9千人/日平均 [路面電車・路線バス] 17.3千人/日平均	未達成
目標2-2： まちなかの賑わいを創出する交通環境を実現する	中心市街地内の休日歩行者通行量	63,000人/日以上	45,435人/日	未達成
目標3： 環境負荷軽減、健康増進に寄与する交通行動の実現を促す	市街化区域内の歩行者・自転車の利用割合	11.3%からの増加	10.0%	未達成

【考察】新型コロナの影響により公共交通の1日当たり利用者数は減少しているが、自転車・公共交通の利用のしやすさにおいて満足と感じる人の割合は、前年と比較して増加した。

(R1年度:[自転車]29.9% [公共交通]38.4%)

【今後の方針】コミュニティバスの運行改善や乗換機能の強化など満足度の向上につながる取り組みを実施するとともに、令和3年11月に供用開始したまちなか図書館において公共交通に関する利用促進イベント等を実施することで、公共交通の利用者数や休日歩行者通行量の増加を図る。

(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画 (R 2.1 0.1 ~ R 3.9.3 0)

地区	目標値	実績値	達成状況
北部地区 (柿の里バス)	7,200人	4,504人	未達成
南部地区 (愛のりくん)	2,600人	2,018人	未達成
前芝地区 (しおかぜバス)	9,000人	6,800人	未達成
川北地区 (かわきたバス)	6,000人	3,267人	未達成
野依地区 (豊鉄バス・三本木線)	117,000人	95,699人	未達成

北部地区：新型コロナの影響による通院控えなどが要因と考えられるが、高齢者の方の通院や買い物など生活の足を守ることができた。

南部地区：高齢者の通院・買い物・娯楽目的の利用控えなどが要因と考えられるが、ヘビーユーザーの通勤利用や最低限の通院や買い物利用などの面で生活の足を守ることができた。

前芝地区：新型コロナの影響による通勤・通学利用や買い物の減少が要因と考えられるが、沿線住民の方の通勤・通学や買い物など生活の足を守ることができた。

川北地区：新型コロナの影響による買い物や外食控えなどが要因と考えられるが、沿線住民の方の買い物など生活の足を守ることができた。

野依地区：新型コロナの影響による利用者の外出抑制が要因と考えられるが、沿線住民の方の生活の足を守ることができた。

【今後の方針】

利用者に寄り添ったルートの見直しやミーティングポイントの見直しを検討するほか、各地区の特色を活かした利用促進等を実施する。

上記自己評価について、令和3年11月19日開催の豊橋市地域公共交通活性化推進協議会で協議

○課題①：自転車・公共交通の満足度が目標を達成しなかった。

→公共交通の維持・強化、利便性の向上に関する課題

今後の取組み内容：コミュニティバスや路線バスの運行改善や乗換機能の強化など満足度の向上につながる取組みを実施

①コミュニティバスの利便性向上の推進

→利用者に寄り添ったルートの見直しやミーティングポイントの見直しを検討
(令和4年度予定)

②バスロケーションシステムの周知(随時)

③交通結節機能の強化

→サイクル&ライド駐輪場整備の推進(令和3~4年度2か所予定)

○課題②：地域内フィーダー系統確保維持計画の目標値に至らない地区があった。

→新型コロナウイルス感染症による利用者減と新たな利用者の創出及び定着化に関する課題

今後の取組み内容：公共交通の安全性の周知と利用促進の実施

①安心安全に乗車できることの周知

→新しい生活様式における公共交通利用方法の周知を、引き続きバス車内や本市ホームページ等に掲載

→地域運営団体が発行する広報紙において積極的に周知

②利用者の要望に応じた路線再編

→北部地区で豊川市への乗り入れや路線のスリム化の要望など、地域運営団体が行ったアンケート結果に基づいたルート再編を検討

③利用促進イベント等の実施

→新型コロナウイルス感染症の感染動向を注視しながら、各地区の特色を活かした利用促進等の実施

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年11月19日

協議会名:豊橋市地域公共交通活性化推進協議会

評価対象事業名:豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画(地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)																												
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載																												
豊鉄タクシー(株)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="507 661 566 1493">北部地区(柿の里バス)</td> <td data-bbox="566 661 917 1493"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="566 661 626 842">石巻西川・賀茂線(下)</td> <td data-bbox="626 661 917 842"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 842 626 1022">石巻西川・賀茂線(上)</td> <td data-bbox="626 842 917 1022"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1022 626 1203">石巻西川・賀茂線(上)</td> <td data-bbox="626 1022 917 1203"> <ul style="list-style-type: none"> ・地域運営団体が発行する広報紙において、引き続き交通事業者が行っている新型コロナウイルス感染症予防対策を周知した。 ・東三河8市町村内で「夏休み小学生50円バス」を実施し、広域移動をしやすい環境づくりを行うとともに、「バス整理券ラリー&歴史謎解きゲーム」を同時期に開催し、各地域内の路線及び地域間幹線の利用促進を図った。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1203 626 1383">下条・森岡線(上)</td> <td data-bbox="626 1203 917 1383"> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み小学生50円バス実施に伴い、一部のコミュニティバスの地域運営団体では、夏休み期間中の小中学生の乗車運賃を運営団体が負担し、普段コミュニティバスに接する機会が少ない年齢層の利用を呼び掛けた。 ・市電、バスの利用促進を啓発するCM動画と、公共交通における新しい生活様式を啓発するCM動画を放映し、公共交通の利用を積極的に呼びかけた。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1383 626 1493">石巻西川・賀茂線/下条・森岡線(上、石老福通過)</td> <td data-bbox="626 1383 917 1493"> <ul style="list-style-type: none"> ・豊鉄バス株式会社のバスロケーションシステムの導入費用を関係市町村で支援した。 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 1493 566 2011">南部地区(愛のりくん)</td> <td data-bbox="566 1493 917 2011"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="566 1493 626 1623">高根・芦原</td> <td data-bbox="626 1493 917 1623"> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの周知をホームページやバス車内でのチラシの掲示などを行った結果、アクセス数が順調に増加しており、利便性の向上につながった。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1623 626 1753">豊南・大清水</td> <td data-bbox="626 1623 917 1753"> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊橋市都市交通計画」の中間見直しを令和2年度中に実施した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1753 626 1883">細谷・二川</td> <td data-bbox="626 1753 917 1883"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1883 626 2011">小沢・二川</td> <td data-bbox="626 1883 917 2011"></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	北部地区(柿の里バス)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="566 661 626 842">石巻西川・賀茂線(下)</td> <td data-bbox="626 661 917 842"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 842 626 1022">石巻西川・賀茂線(上)</td> <td data-bbox="626 842 917 1022"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1022 626 1203">石巻西川・賀茂線(上)</td> <td data-bbox="626 1022 917 1203"> <ul style="list-style-type: none"> ・地域運営団体が発行する広報紙において、引き続き交通事業者が行っている新型コロナウイルス感染症予防対策を周知した。 ・東三河8市町村内で「夏休み小学生50円バス」を実施し、広域移動をしやすい環境づくりを行うとともに、「バス整理券ラリー&歴史謎解きゲーム」を同時期に開催し、各地域内の路線及び地域間幹線の利用促進を図った。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1203 626 1383">下条・森岡線(上)</td> <td data-bbox="626 1203 917 1383"> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み小学生50円バス実施に伴い、一部のコミュニティバスの地域運営団体では、夏休み期間中の小中学生の乗車運賃を運営団体が負担し、普段コミュニティバスに接する機会が少ない年齢層の利用を呼び掛けた。 ・市電、バスの利用促進を啓発するCM動画と、公共交通における新しい生活様式を啓発するCM動画を放映し、公共交通の利用を積極的に呼びかけた。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1383 626 1493">石巻西川・賀茂線/下条・森岡線(上、石老福通過)</td> <td data-bbox="626 1383 917 1493"> <ul style="list-style-type: none"> ・豊鉄バス株式会社のバスロケーションシステムの導入費用を関係市町村で支援した。 </td> </tr> </table>	石巻西川・賀茂線(下)		石巻西川・賀茂線(上)		石巻西川・賀茂線(上)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営団体が発行する広報紙において、引き続き交通事業者が行っている新型コロナウイルス感染症予防対策を周知した。 ・東三河8市町村内で「夏休み小学生50円バス」を実施し、広域移動をしやすい環境づくりを行うとともに、「バス整理券ラリー&歴史謎解きゲーム」を同時期に開催し、各地域内の路線及び地域間幹線の利用促進を図った。 	下条・森岡線(上)	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み小学生50円バス実施に伴い、一部のコミュニティバスの地域運営団体では、夏休み期間中の小中学生の乗車運賃を運営団体が負担し、普段コミュニティバスに接する機会が少ない年齢層の利用を呼び掛けた。 ・市電、バスの利用促進を啓発するCM動画と、公共交通における新しい生活様式を啓発するCM動画を放映し、公共交通の利用を積極的に呼びかけた。 	石巻西川・賀茂線/下条・森岡線(上、石老福通過)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊鉄バス株式会社のバスロケーションシステムの導入費用を関係市町村で支援した。 	南部地区(愛のりくん)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="566 1493 626 1623">高根・芦原</td> <td data-bbox="626 1493 917 1623"> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの周知をホームページやバス車内でのチラシの掲示などを行った結果、アクセス数が順調に増加しており、利便性の向上につながった。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1623 626 1753">豊南・大清水</td> <td data-bbox="626 1623 917 1753"> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊橋市都市交通計画」の中間見直しを令和2年度中に実施した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1753 626 1883">細谷・二川</td> <td data-bbox="626 1753 917 1883"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1883 626 2011">小沢・二川</td> <td data-bbox="626 1883 917 2011"></td> </tr> </table>	高根・芦原	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの周知をホームページやバス車内でのチラシの掲示などを行った結果、アクセス数が順調に増加しており、利便性の向上につながった。 	豊南・大清水	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊橋市都市交通計画」の中間見直しを令和2年度中に実施した。 	細谷・二川		小沢・二川		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1353 661 1843 1493">A</td> <td data-bbox="1843 661 2184 1493">補助対象期間中は、所定の事業計画どおりの運行が実施された。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1353 1493 1843 2011">A</td> <td data-bbox="1843 1493 2184 2011">補助対象期間中は予約があった場合は適切に配車されており、所定の事業計画どおりの運行が実施された。</td> </tr> </table>	A	補助対象期間中は、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	補助対象期間中は予約があった場合は適切に配車されており、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1843 661 2184 1493">B</td> <td data-bbox="2184 661 2718 1493"> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、目標を達成することができなかった。新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら利用促進イベントなどを行い北部地区の年間利用者数の目標達成を来年度も目指す。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症対策の周知を地域運営団体が発行する広報紙で行っていく。 ・豊川市への乗り入れや路線のスリム化の要望があるため、利用しやすい路線となるよう必要な見直しを図るべくアンケートを実施中。 ・地域運営団体で沿線企業や事業所を回り、車両広告収入を確保することで、今後も地域全体でバスを支える取組を実施する。 ・安定的な収入を確保するため、令和3年4月から車内広告を掲載している。 ・地域運営団体がより主体的に活動を行っていくため、市内の学識経験者などによる助言等を受けながら活発的な利用促進を図っていく。 ・地域の集まりや行事に地域運営団体が出向き、PRブースを設置し、チラシの配布や、現状の説明を行う等、今後も継続して呼びかけを行う。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1843 1493 2184 2011">B</td> <td data-bbox="2184 1493 2718 2011"> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、目標を達成することができなかった。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、関係校区への周知を引き続き実施することで、南部地区の年間利用者数の目標達成を目指す。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の周知を地域運営団体が発行する広報紙で行っていく。 ・運行地域校区内の75歳以上の方を対象としたアンケートを実施中。普段の外出先や行動目的の現状把握を行うほか、利用方法・運行内容などに対する課題抽出・改善施策を検討する。また、乗合率が1.3程度にとどまっているので、乗合率を高めるために、移動需要に応じたミーティングポイントの見直しや、より有効な利用時間帯について検討する。 ・今後も民生委員や自治会等と連携し個々に利用を働き掛けていく。 </td> </tr> </table>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、目標を達成することができなかった。新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら利用促進イベントなどを行い北部地区の年間利用者数の目標達成を来年度も目指す。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症対策の周知を地域運営団体が発行する広報紙で行っていく。 ・豊川市への乗り入れや路線のスリム化の要望があるため、利用しやすい路線となるよう必要な見直しを図るべくアンケートを実施中。 ・地域運営団体で沿線企業や事業所を回り、車両広告収入を確保することで、今後も地域全体でバスを支える取組を実施する。 ・安定的な収入を確保するため、令和3年4月から車内広告を掲載している。 ・地域運営団体がより主体的に活動を行っていくため、市内の学識経験者などによる助言等を受けながら活発的な利用促進を図っていく。 ・地域の集まりや行事に地域運営団体が出向き、PRブースを設置し、チラシの配布や、現状の説明を行う等、今後も継続して呼びかけを行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、目標を達成することができなかった。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、関係校区への周知を引き続き実施することで、南部地区の年間利用者数の目標達成を目指す。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の周知を地域運営団体が発行する広報紙で行っていく。 ・運行地域校区内の75歳以上の方を対象としたアンケートを実施中。普段の外出先や行動目的の現状把握を行うほか、利用方法・運行内容などに対する課題抽出・改善施策を検討する。また、乗合率が1.3程度にとどまっているので、乗合率を高めるために、移動需要に応じたミーティングポイントの見直しや、より有効な利用時間帯について検討する。 ・今後も民生委員や自治会等と連携し個々に利用を働き掛けていく。
北部地区(柿の里バス)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="566 661 626 842">石巻西川・賀茂線(下)</td> <td data-bbox="626 661 917 842"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 842 626 1022">石巻西川・賀茂線(上)</td> <td data-bbox="626 842 917 1022"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1022 626 1203">石巻西川・賀茂線(上)</td> <td data-bbox="626 1022 917 1203"> <ul style="list-style-type: none"> ・地域運営団体が発行する広報紙において、引き続き交通事業者が行っている新型コロナウイルス感染症予防対策を周知した。 ・東三河8市町村内で「夏休み小学生50円バス」を実施し、広域移動をしやすい環境づくりを行うとともに、「バス整理券ラリー&歴史謎解きゲーム」を同時期に開催し、各地域内の路線及び地域間幹線の利用促進を図った。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1203 626 1383">下条・森岡線(上)</td> <td data-bbox="626 1203 917 1383"> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み小学生50円バス実施に伴い、一部のコミュニティバスの地域運営団体では、夏休み期間中の小中学生の乗車運賃を運営団体が負担し、普段コミュニティバスに接する機会が少ない年齢層の利用を呼び掛けた。 ・市電、バスの利用促進を啓発するCM動画と、公共交通における新しい生活様式を啓発するCM動画を放映し、公共交通の利用を積極的に呼びかけた。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1383 626 1493">石巻西川・賀茂線/下条・森岡線(上、石老福通過)</td> <td data-bbox="626 1383 917 1493"> <ul style="list-style-type: none"> ・豊鉄バス株式会社のバスロケーションシステムの導入費用を関係市町村で支援した。 </td> </tr> </table>	石巻西川・賀茂線(下)		石巻西川・賀茂線(上)		石巻西川・賀茂線(上)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営団体が発行する広報紙において、引き続き交通事業者が行っている新型コロナウイルス感染症予防対策を周知した。 ・東三河8市町村内で「夏休み小学生50円バス」を実施し、広域移動をしやすい環境づくりを行うとともに、「バス整理券ラリー&歴史謎解きゲーム」を同時期に開催し、各地域内の路線及び地域間幹線の利用促進を図った。 	下条・森岡線(上)	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み小学生50円バス実施に伴い、一部のコミュニティバスの地域運営団体では、夏休み期間中の小中学生の乗車運賃を運営団体が負担し、普段コミュニティバスに接する機会が少ない年齢層の利用を呼び掛けた。 ・市電、バスの利用促進を啓発するCM動画と、公共交通における新しい生活様式を啓発するCM動画を放映し、公共交通の利用を積極的に呼びかけた。 	石巻西川・賀茂線/下条・森岡線(上、石老福通過)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊鉄バス株式会社のバスロケーションシステムの導入費用を関係市町村で支援した。 																						
石巻西川・賀茂線(下)																																	
石巻西川・賀茂線(上)																																	
石巻西川・賀茂線(上)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営団体が発行する広報紙において、引き続き交通事業者が行っている新型コロナウイルス感染症予防対策を周知した。 ・東三河8市町村内で「夏休み小学生50円バス」を実施し、広域移動をしやすい環境づくりを行うとともに、「バス整理券ラリー&歴史謎解きゲーム」を同時期に開催し、各地域内の路線及び地域間幹線の利用促進を図った。 																																
下条・森岡線(上)	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み小学生50円バス実施に伴い、一部のコミュニティバスの地域運営団体では、夏休み期間中の小中学生の乗車運賃を運営団体が負担し、普段コミュニティバスに接する機会が少ない年齢層の利用を呼び掛けた。 ・市電、バスの利用促進を啓発するCM動画と、公共交通における新しい生活様式を啓発するCM動画を放映し、公共交通の利用を積極的に呼びかけた。 																																
石巻西川・賀茂線/下条・森岡線(上、石老福通過)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊鉄バス株式会社のバスロケーションシステムの導入費用を関係市町村で支援した。 																																
南部地区(愛のりくん)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="566 1493 626 1623">高根・芦原</td> <td data-bbox="626 1493 917 1623"> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの周知をホームページやバス車内でのチラシの掲示などを行った結果、アクセス数が順調に増加しており、利便性の向上につながった。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1623 626 1753">豊南・大清水</td> <td data-bbox="626 1623 917 1753"> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊橋市都市交通計画」の中間見直しを令和2年度中に実施した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1753 626 1883">細谷・二川</td> <td data-bbox="626 1753 917 1883"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1883 626 2011">小沢・二川</td> <td data-bbox="626 1883 917 2011"></td> </tr> </table>	高根・芦原	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの周知をホームページやバス車内でのチラシの掲示などを行った結果、アクセス数が順調に増加しており、利便性の向上につながった。 	豊南・大清水	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊橋市都市交通計画」の中間見直しを令和2年度中に実施した。 	細谷・二川		小沢・二川																									
高根・芦原	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの周知をホームページやバス車内でのチラシの掲示などを行った結果、アクセス数が順調に増加しており、利便性の向上につながった。 																																
豊南・大清水	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊橋市都市交通計画」の中間見直しを令和2年度中に実施した。 																																
細谷・二川																																	
小沢・二川																																	
A	補助対象期間中は、所定の事業計画どおりの運行が実施された。																																
A	補助対象期間中は予約があった場合は適切に配車されており、所定の事業計画どおりの運行が実施された。																																
B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、目標を達成することができなかった。新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら利用促進イベントなどを行い北部地区の年間利用者数の目標達成を来年度も目指す。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症対策の周知を地域運営団体が発行する広報紙で行っていく。 ・豊川市への乗り入れや路線のスリム化の要望があるため、利用しやすい路線となるよう必要な見直しを図るべくアンケートを実施中。 ・地域運営団体で沿線企業や事業所を回り、車両広告収入を確保することで、今後も地域全体でバスを支える取組を実施する。 ・安定的な収入を確保するため、令和3年4月から車内広告を掲載している。 ・地域運営団体がより主体的に活動を行っていくため、市内の学識経験者などによる助言等を受けながら活発的な利用促進を図っていく。 ・地域の集まりや行事に地域運営団体が出向き、PRブースを設置し、チラシの配布や、現状の説明を行う等、今後も継続して呼びかけを行う。 																																
B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、目標を達成することができなかった。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、関係校区への周知を引き続き実施することで、南部地区の年間利用者数の目標達成を目指す。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の周知を地域運営団体が発行する広報紙で行っていく。 ・運行地域校区内の75歳以上の方を対象としたアンケートを実施中。普段の外出先や行動目的の現状把握を行うほか、利用方法・運行内容などに対する課題抽出・改善施策を検討する。また、乗合率が1.3程度にとどまっているので、乗合率を高めるために、移動需要に応じたミーティングポイントの見直しや、より有効な利用時間帯について検討する。 ・今後も民生委員や自治会等と連携し個々に利用を働き掛けていく。 																																

東海交通(株)	前芝地区(しおかぜバス)	梅藪前芝線	A	補助対象期間中は、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B	<p>【達成状況】 豊橋市前芝地区の目標は、年間(R2.10~R3.9)の利用者数を9,000人としており、年間の利用者数は6,800人と目標は達成されなかったが、コロナ禍でも沿線住民の方の通勤・通学や買い物など生活の足を守ることができた。</p> <p>【要因】 豊橋駅を目的地にした利用者が大多数で、コロナ禍の影響による朝晩の通勤・通学や駅ビルでの買い物を目的とした利用者の一時的な利用控えのため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、目標を達成することができなかった。令和2年8月より運行経路の変更を行ったので、関係校区への周知をより一層実施することで、前芝地区の年間利用者数の目標達成を目指す。 ・今年度も昨年度に引き続き「豊橋まつり」が中止になり、例年の土日運行は行わなかったが、来年度は例年通り実施予定。 ・利用促進の機会を増やすために、運営協議会広報部の積極的な活動を促し、地域が作成する広報紙の発行回数を増やしていく。
東海交通(株)	川北地区(かわきたバス)	大村系統(左回り)	A	補助対象期間中は、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B	<p>【達成状況】 豊橋市川北地区の目標は、年間(R2.10~R3.9)の利用者数を6,000人としていたが、年間の利用者数は3,267人と目標は達成されなかったが、コロナ禍でも沿線住民の方の買い物など生活の足を守ることができた。</p> <p>【要因】 豊橋駅を目的地にした利用者が大多数で、コロナ禍の影響による駅ビル及び駅周辺での買い物・飲食やグループでのウォーキング利用の減少など利用者離れが進み、新たな利用者の獲得も難しかったため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新型コロナウイルス感染症対策の周知を地域運営団体が発行する広報紙で行っていく。 ・コロナ禍の影響により、目標を達成することができなかった。平成31年4月から本格運行に移し利用の定着化を図っているところであるが、原因の検証を行い、来年度は川北地区の年間利用者数の目標達成を目指す。 ・安定的な収入を確保するため、令和3年4月から新たに車両広告を増枠した。 ・運行地域の住民が主体となり、利用促進の一環として、バスを利用した地域の特性や魅力を地域内外に発信するツアーを今後も継続して実施していく。 ・新規顧客の獲得のため、時刻表が掲載されたパンフレットの配架など利用促進事業で連携する協力店舗を募集した。 ・沿線付近にある豊橋創造大学との連携を進め、学生発の利用促進を図っていく。 ・運行地域の住民が主体となり、運営団体に留まらず、地域(の組織)と連携し、バス利用の呼び掛けを行い、利用促進を図る取組を実施する。
豊鉄バス(株)	野依地区	三本木線(くすのき特別支援学校)	A	補助対象期間中は、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B	<p>豊橋市野依地区の目標は、年間(R2.10~R3.9)の利用者数を117,000人としていたが、年間の利用者数は95,699人と目標は達成されなかった。コロナ禍でも沿線住民の方の通院や買い物など生活の足を守ることができた。</p> <p>【要因】 コロナ禍の影響により利用者が落ち込んだため。安定的な利用者の確保には至らなかったが、コロナ禍の影響が大きかった前年度より利用者数は9,372人増加した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新型コロナウイルス感染症対策の周知をバス車内等で行っていく。 ・利用実績をもとに今年度の目標利用者数を117,000人としたが、年間の利用者数は95,699人と目標より減少したものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が大きかった前年度より利用者数は9,372人増加している。来年度は目標を86,500人とし、利用状況を観察しながら、利用促進に努めていく。 ・路線全体の利用者をさらに増やすために、自治会等に利用促進の働きかけを行っていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年11月19日

協議会名:	豊橋市地域公共交通活性化推進協議会
評価対象事業名:	豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>交通不便地域における交通手段の確保を図る。</p> <p>豊橋市では、平成28年3月に「豊橋市地域公共交通網形成計画」(以下「形成計画」という。)を策定し、基本理念として掲げた、「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」を実現するための事業展開を図っている。</p> <p>現在、豊橋市の郊外部には交通不便地域が存在しており、当該地域に居住する市民の日常の移動手段を確保のため、形成計画では「交通結節点へのアクセス性の向上」の取組みとして、バス路線の維持や、コミュニティバス(「地域生活」バス・タクシー)の運行を実施事業として掲げている。</p> <p>そこで、本計画では当該実施事業を着実にを行うことにより、交通不便地域に居住する市民の日常の移動手段を確保することを目的とする。</p>